

授業科目名	哲学		担当教員	熊谷 征一郎	科目ナンバリング LE107
選択	開講年次：1年後期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

文明の発祥から現代に至るまでの哲学の展開をたどる。東洋と西洋の哲学的パラダイムを比較し、臨床の知の再生の意味を探求する。人間の生と死、他者と愛、文化と価値観、現代社会の問題点などを哲学的視点から学ぶ。

【達成目標】

現代の哲学的パラダイムの源泉を理解し、人間や人間に関する現象を理解する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] イントロダクション：授業の履修について
哲学とは何か？
- [02] 「身体」の哲学(西洋：古代～現代)
- [03] 「身体」の哲学(東洋：古代～現代)
- [04] 「心」の哲学(西洋と東洋：古代～現代)
- [05] 「感情」の哲学(東洋と西洋：古代～現代)
- [06] 「愛」の哲学(西洋：古代～現代)
- [07] 「愛」の哲学(東洋：古代～現代)
- [08] 今日における臨床哲学の可能性

【教科書】

指定なし

【参考書】

1. 泉治典・渡辺二郎編(1983)：西洋における生と死の思想、有斐閣
2. 中村雄二郎(1992)：臨床の知とは何か、岩波書店
3. 野家啓一・木村敏監修(2012)「自己」と「他者」——臨床哲学の諸相、河合文化教育研究所

【評価方法・評価基準】

1. 学期末レポート(60%)
2. 授業のなかで出される「質問」への「回答」(40%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：次回の授業で学習する哲学者について、(自分にできる範囲で)調べてくる(1時間)。

事後学習：授業のなかで強調して説明していた内容を中心に、プリントやノートを振り返り、頭のなかを整理する(1時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ、教養教育で培う普遍的基礎能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

授業のなかで出される「質問」への「回答」には、次の授業のなかでコメントおよび補足説明をする。

【備考】

第1回の授業動画で、受講の仕方等について、ガイダンスをする。